

# 職場における熱中症対策について

## 熱中症のおそれのある者に対する処置の例

熱中症のおそれのある者を発見

### 熱中症が疑われる症状例

【他覚症状】 くらつき・生あくび・失神・大量の発汗・痙攣 等  
【自覚症状】 めまい・筋肉痛・筋肉の硬直(こむら返り)・頭痛  
不快感・吐き気・倦怠感・高体温 等

作業離脱、身体冷却

異常等あり

意識の異常等

「意識の有無」だけで判断するのではなく…

① 返事がおかしい ② ぼーっとしている  
など、普段と様子がおかしい場合も異常等ありとして取り扱うことが適当。  
判断に迷う場合は、安易な判断は避け、#7119等を活用するなど専門  
機関や医療機関に相談し専門家の指示を仰ぐこと。

異常等なし

救急隊要請

119番通報(指定病院可)

できない

自分での水分摂取



できる

医療機関までの搬送の間や経過観察中は、一人にしない。

(単独作業の場合は常に連絡できる状態を維持する)

医療機関への搬送

経過観察

回復しない、症状悪化

回復

回復

回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

連絡網

派遣スタッフ

指揮命令者  
(派遣先責任者)

119番通報

営業担当

状況確認  
家族に連絡 等…

総務

場合により  
傷病手当準備 等…